

1 F

英語 B (熊谷)

中学校で英語を学ぶのは初めてのことと思います。英語のほとんどは中学校のうちに習いますし、語学はスタートでどれだけできるかにかかっているので、最初から集中して一緒に頑張っていきましょう。

ZOOM 授業明けに英単語 100 問テストを行いました。一年生にとっては知らない単語もたくさんあって、難しかったと思います。しかし、目標にしていた一年生の範囲については、ほとんどの生徒がしっかりできていたように思います。今後も単語テスト等のときには、ぜひ事前にきちんと準備して取り組んでください。単語は英語の基礎になりますので、手を抜かずにがんばりましょう。

英語 A (依田)

4 人とも、全学年共通で行った英単語テストの点数が良くありませんでした。授業の始めに単語テストを実施していますが、坂本さんと古澤くんは特に、指定した範囲の勉強をしてくる意識が足りません。河野さんと藤巻くんは、自分なりの勉強の仕方や動機などを考えて点数が伸びてきているようなので、参考にして欲しいです。授業中に取り組む問題も、内容理解はしていても単語の間違いで○にできないことが多いようなので、単語の勉強に力を入れて欲しいです。

数学 B (山藤)

すばらしいことに、多くの生徒が「解ければいい」ではなく「どう解くか」を意識して問題に取り組んでくれています。生徒たちがお互いに解法を共有し、刺激しあっています。先生から生徒への一方通行ではなく、生徒同士で活発に発見を促しあえる環境になっていると思います。

しかしその代わり私語も多く、難しい問題だと答えが出るまで集中できない人もいます。もう少し冷静に問題に取り組む姿勢なようです。

Zoom 授業で扱った範囲の理解度にかかなり個人差が出てきています。ただその範囲は基本の計算問題がほとんどであり、見ている限り、分配法則や通分など一つ一つのポイントはほぼ理解できています。複数のポイントがある問題で混乱し

てしまう、または単にミスが多いのどちらかなので、今一度新中間を丁寧に見返し、練習問題に取り組みればカバーできるはずですので、ご自宅での復習をお願いします。

数学 A (橋本)

1. 現在の授業と授業の進め方について

すばるでの授業が始まり、正負の数、文字式の単元が終了しました。現在は方程式の分野を進めています。

授業は「新中学問題集(新中間)」を使用して進めていきます。進度は、通常であれば学校より数単元先を行うこととしていますが、今年はコロナウイルスの影響もあり、学校とは進度にだいぶ差ができています。それでも、例年と比較すると進度は遅れ気味です。さらに、計算力がまだまだ足りていないと言えます。これは、例年であれば学校の授業がすばるの復習のような流れになり、定着度が向上するのですが、今年はすばると学校の進度が離れているため、十分な計算の復習ができていなかったと考えています。学校の授業も大事にさせていただくと同時に、iワークを用い、計算力の強化を図っていただきたいと思っています。

また、google classroom を利用して、小テストを実施しています。1年生の範囲の正負の数から文字式までのテストを実施しましたが、目標時間は設定していませんが、各自がどれだけ時間をかけて解いたかは報告をしてもらっていないため、今後授業内で問題対応力・スピードなど確認していこうと考えています。計算の間違いが多く見られているので、定期テスト前に計算チェックしミス無くしたいと考えています。

2. 定期テスト対策について

定期テスト 1 週間前を目安に、テスト対策授業を行います。内申点の観点別では、特に「見方・考え方」の成績が取りにくいいため、この観点を強化したいと考えています。しかしながら、これは日々の授業で「よく考える・理解する」ことに注力していないとなかなか伸びにくいいため、毎回の授業を大事にしたいです。そのため、定期テスト対策では、語句など知識を含め、全体的に忘れていないか、計算はできるか、思考系問題に対応できるかのチェックをすることが主となります。数学は、テスト前 1 週間で劇的に伸びる科目ではないため、それまでにどれだけ時間をかけ、また理解して練習してきたかで問題対

応力が変わります。余裕をもって定期テストの準備をし、抜けがないか、問題がしっかり解けるかをチェックするテスト対策期間にしてほしいと思います。

3. 家庭での学習について

授業の復習を主とし、計算力の向上と思考系問題の強化に努めてほしいです。理解度が高い単元は問題演習を主とし、よくわからない問題はチェックを入れてよく考え、解説を読んで解き方を学んでください。解決できない問題は、必ず質問して理解する意識を持ってください。授業で学習したことをしっかり定着させるためには、定期的の確認（復習）することが大切です。チェックを入れた問題を重点的に復習し、類題はiワークを利用してください。難易度の高い問題やもっと問題演習をしたい場合は、プリントをお渡しします。

4. 今後について

引き続き新中間を進めていきます。方程式の文章題、比例・反比例と重要単元が続きます。よく考え答えを導き出せる実力をつけたいと考えています。意識づけとしては、復習をしっかりし、理解が浅い単元・よくわからないことをしっかりクリアしていくこと、どんどん質問して解決できるようにしていきたいと考えています。もし煮詰まっていたりしたら、聞いておいでと軽く背中を押してあげてほしいと思います。よろしく願いいたします。

国語（中本）

【授業の雰囲気】

活発で積極的な発言によって授業が前に進んでいくクラスですが、やや発言する人が偏っていて、「人任せ」になっている部分があります。授業は自分ごとであることを強く意識し、一回の授業で得られる成果を最大化するための授業の受け方を意識してほしいと思います。

学力以前に授業の受け方に差があります。必要だと感じたことをメモする、課題に対して少しでも良いものを作ろう・書こうと意識する、忘れ物をしない、宿題を忘れない、などの面で、ある人は時間をかけて何度も推敲を重ねて作品を提出する一方で、ある人は数分で終わらせた、もしくは「書けなかった」と言ってその課題について終わらせようとします。

同じ授業を受けていても、同じ課題に取り組んでいても、取り組み方の差はいずれ大きな差となって跳ね返ってきます。中1の最初の段階で、そこが緩むと決していい塾通いになりません。

「出来るようにならない」と嘆く前に、最善の形で授業を受けているか、受けようとしているか、というところを省みていただきたいと思います。もちろん、我々もベストを尽くしますが、生徒本人の気持ちが上向いてくることが重要です。

繰り返しますが、授業の受け方に差があります。ぜひ意識を高めた塾通いをお願いしたいと思います。

【進度・ペース】

4月・5月のzoom授業では、学校の教科書単元を塾で扱うという試みをやっていました。学校の授業で深く読む余裕がなさそうである点、日頃塾で扱っているプリントによる授業の実施が難しい点から、そのような形を取りました。今後の学校の授業に生きてくると思われますし、私自身にも良い経験となりました。そのため、例年とは違う形で進んでいます。もとより「教えたこと」はありますが、「教えるもの」が決まっているわけではありません。「こと」に関しては、順調に授業を進められているように感じています。

通塾再開後から「物語を書く」という試みを重点的に行なっています。これは、表現力の強化と物語の構成についての意識を高めること、言葉の持つ力について理解を深めることが狙いです。

新中学問題集については、授業での使用予定は今後ありません。各自家庭学習用としてご使用いただいで結構です。